

「第23回岡本太郎現代芸術賞(TARO 賞)」展

The 23rd Exhibition of the Taro Okamoto Award for Contemporary Art

第23回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)受賞者が決定しました。

今回の受賞式では岡本太郎賞(1点)、岡本敏子賞(1点)、特別賞(5点)が選ばれました。

岡本太郎賞

作家名 野々上 聡人
受賞作品 《ラブレター》



岡本敏子賞

作家名 根本 裕子
受賞作品 《野良犬》



PRESS RELEASE

特別賞

作家名 澤井 昌平
受賞作品 《風景》



特別賞

作家名 藤原 千也
受賞作品 《太陽のふね》



特別賞

作家名 本濃 研太
受賞作品 《僕の DNA が知っている》



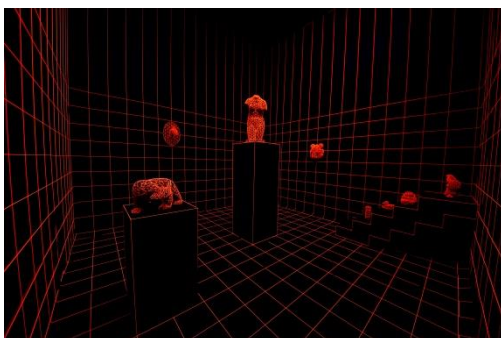
特別賞

作家名 村上 力
受賞作品 《㊦一品洞「美術の力」》



特別賞

作家名 森 貴之
受賞作品 《View Tracing》



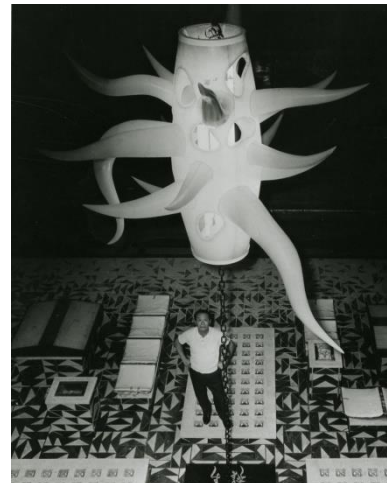
時代を創造する者は誰か！

1954年、岡本太郎43歳のときに出版された『今日の芸術』。この本には「時代を創造する者は誰か」というサブタイトルがつけられていました。

1996年、岡本太郎没、享年84歳。

その後、岡本太郎記念現代芸術大賞（2006年岡本太郎現代芸術賞に改称）、通称「TARO賞」が創設されました。彼の遺志を継ぎ、まさに「時代を創造する者は誰か」を問うための賞。今年で22回目をむかえた本賞では、452点の応募があり、厳正な審査を行いました結果、23名（組）が入選をはたしました。

作品は、様々な機会をとらえて公表するとともに、川崎市岡本太郎美術館「第23回 岡本太郎現代芸術賞」展にて公開いたします。21世紀における芸術の新しい可能性を探る、「ペラボーな」（太郎がよく使った言葉です）作品をご覧ください。



開催概要

| | |
|------|---|
| 会場 | 川崎市岡本太郎美術館 企画展示室 |
| 会期 | 2020年2月14日（金）～4月12日（日） |
| 主催 | 川崎市岡本太郎美術館、公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団 |
| 開館時間 | 9:30～17:00（入館は16:30まで） |
| 休館日 | 月曜日（2月24日を除く）、2月25日 |
| 観覧料 | 一般700（560）円、高・大学生、65歳以上500（400）円 中学生以下は無料 ※（ ）内は20名以上の団体料金 ※本料金で常設展もご覧いただけます。 |

同時開催

常設展

「岡本太郎“聖家族”」展（会期：1月17日（金）～4月12日（金））

入選者（50音順）

| | | | |
|--------|-------|--------|---------|
| 浅川 正樹 | 井上 直 | 大石 早矢香 | 大小田 万侑子 |
| 桂 典子 | 小嶋 晶 | 笹田 晋平 | 佐藤 圭一 |
| 澤井 昌平 | そんたくズ | 高島 亮三 | 根本 裕子 |
| 野々上 聡人 | 春田 美咲 | 藤田 淑子 | 藤原 千也 |
| 本濃 研太 | 松藤 孝一 | 丸山 喬平 | 水戸部 春菜 |
| 村上 力 | 村田 勇氣 | 森 貴之 | |

出品作品

入選者による 平面、立体、映像、インスタレーション作品 他 23点

審査員 (50音順)

榎木 野衣： 美術批評家／多摩美術大学教授
平野 暁臣： 空間メディアプロデューサー／岡本太郎記念館館長
北條 秀衛： 川崎市岡本太郎美術館館長
山下 裕二： 美術史家／明治学院大学教授
和多利 浩一： ワタリウム美術館キュレーター

関連イベント

1) 第23回 TARO 賞ギャラリートーク

第23回 TARO 賞入選作家によるギャラリートークを行います。
開催日：3/1(日)、3/15(日)、3/20(金・祝)、4/12(日)(予定)
開催時間：14:00～(予定)
料 金：要観覧料

2) お気に入りを選ぼう!

展示されている入選作品の中から、ご来館の皆さまにお気に入り作品を投票していただきます。投票の結果は、ホームページ等で発表するとともに、上位の作家には記念品を進呈します。
日 時：2月14日(金)～3月22日(日)
場 所：ギャラリースペース
結果発表：3月26日(木)(予定)
※展示作品をご覧になるには、観覧料が必要です。

3) お手紙プロジェクト

作品への感想などを共有する「お手紙プロジェクト」。来館者に入選作家や作品に対してメッセージを書いてもらう企画です。
日時：2月14日(金)～4月12日(日)(予定)
場所：ギャラリースペース

※その他イベント、イベントの詳細につきましては、当館ホームページで随時お知らせいたします。

写真撮影・SNS等への画像掲載について

本展示会は、会場内をご自由に撮影することができます。SNS等への発信も可能です。会場や作品の写真がSNS等を通じてシェアされ、来館者と作家とのコミュニケーションのきっかけになればと考えています。

| |
|---|
| お問い合わせ先 川崎市岡本太郎美術館 展示会担当：佐藤(玲)、佐藤(明)、千村 広報担当：松井 TEL：044-900-9898 FAX：044-900-9966 |
|---|